

# 1129現地集会へ

# 二期着工阻止！ 三里塚から反戦の炎を！

## 東京実行委・反対同盟のよびかけに 全国労働者の総決起を創りだそう！

現在、三里塚二期着工攻撃は、とりわけ敷地内反対同盟農民への暴力的圧殺攻撃として日々激化しています。農民の生きる唯一の手段たる農地を奪い、ブルドーザーで家屋をおし潰す農民殺しの非道な二期工事をなんとしても粉碎しよう。その為、東京実行委員会と反対同盟のよびかけに断固として応え、三里塚を叩く陣形をさらに拡大させる重大な印として1129現地集会に決起しようではありませんか。

### 開始された二期攻撃

10日現地大集会は、反対同盟のよびかけに決起を軸とした全人民の一万二千名の大結集にまで圧倒的な成功をおさりました。それ故に、支配者権力の危機感にさらされた憎みの攻撃がますます激しくなっています。敷地内15戸農民の土地・家屋のとりつぶしはもとより、騒音対策の名のもとに「騒特法」をかりかごと周辺住民四百二十戸をも叩き出さそうとしています。そこで京成線芝山延伸工事の強行策動にもない、滑走路予定地ががんばる木の根・小川三兄弟家族に対する執拗ないやがらせ、不当検問、そして小川さん家族の幼稚園に通園している幼い子供たちまで毎朝乱叩服の杖動隊が検問し、身体検査までするという非道を行っています。

### 生命かけて決起する農民を守れ！

こうした状況下で、小川源さんは、「権力に命をとりられるかもしれない。しかし、俺の命がなくなっても、やたらに土地は渡さない。俺は命をかける。俺についてこい」と、すさまじいまでの決意で、われわれに呼びかけています。この決意と印が、政府・支配者の軍事大団化すなわち戦争と反動の攻撃と真向から対決する最大の印であり、国家権力の暴力の前に、農民・労働者・人民が屈服するの否かをかけた階級決戦です。われわれ労働者は、反対同盟とリゆけ敷地内農民を見殺しにすることなど断じてできません。なぜならば、このことは、三里塚の未来とともに、日本のすべての人民の未来がかかっているからです。

いまこそ数十万の労働者・人民の三里塚闘争への総決起をつくり出し、反対同盟農民と心の底からの連帯・共闘をつくり出して、この闘争はありませぬか。

### 三里塚から反撃を！

1129を叩いぬぎ、123総決起へ

われわれは、今春813シエルト決戦闘争を、三里塚反対同盟農民の支持・連帯のもとに、歴史的な勝利をおさしたことができました。同時に、「三里塚闘争に連帯し、勤労シエルト闘争を支援する東京実行委員会」東東(に)結集する多くの仲間を擁護した支援の印が決定的な力を発揮したことを確認できます。東東の代表世話人でもある、浅田光輝氏(立正大教授)は、1129への呼びかけでつぎのように訴えています。「二期本格着工が煮つまっています。こうした情勢下で、実在的な印では勝利できません。全国の叩く地域の仲間がこころ一番集中心、いまこそ三里塚へ総決起しよう。数十万の人民の海で空港を包囲し、奥力で廃港を叩いとり、反対同盟農民を支えぬよう、1129をその突破口としよう」と。

われわれは、日帝の軍事大団化―右翼労組統一―労働運動の右からの分裂攻撃―国鉄35体制攻撃という、この連動した恐ろべき大反動攻撃を粉碎する印の一切の鍵は、敵の攻撃の最大の柱ともいえるべき三里塚二期攻撃に勝利することであり、そのために、1129三里塚現地集会と、123右翼労組統一粉砕・首都圏労働者集会」の連続した印を全力でかちとるうちはありませんか。

二期工着工阻止・空港廃港・三里塚を反戦の塔に、1129三里塚現地集会

主催：三里塚闘争に連帯し、勤労シエルト闘争を支援する東京実行委員会  
協賛：三里塚芝山連合空港反対同盟  
日時：11月29日(日)正午、場所：三里塚オ一公園  
勤労千葉集合！成田運転区10時(作業衣)